

# 令和元年度上半期指定管理者管理運営状況シート

## ●施設の概要

施設名	梅林児童館	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市田端町1番地11		
指定管理者名	社会福祉法人 和光会		
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	16,582,925円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建 ◇敷地面積:829.92㎡ ◇延床面積:514.44㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室、多目的ルーム、事務室		

## ●利用状況

		R01上半期	H30下半期	H30上半期	H29下半期	H29上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数 (※うち放課後児童クラブ利用人数)	9,248	9,520	8,951	8,654	11,319
	移動児童館利用者数	442	681	710	763	665
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※14(10)	※17(10)	※14(8)	23	18
	開館日数(単位:日)	155	151	151	151	157

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

□平成29年4月より、梅林児童館内にて開設していた放課後児童クラブが梅林小学校に移動した。

## ●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①⑤計画通りに実施。 ②所長(常勤職員)、常勤職員1人、非常勤職員6人(内休日対応職員として大学生臨時職員1人)。保有資格は、保育士は所長を含め3人である。(9月より4人) ③おたより「メロディ」を毎月発行・配布、法人のホームページに掲載、ホームページの内容(写真・コメント)を館内に掲示。 ④常時ご意見箱を設置するとともに、利用者アンケートを実施し、問題の解決に努めている。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①適切に実施。 ②日常清掃を毎日遂行。玩具については定期的な消毒と片づけ時の破損等の点検を実施。 ③節電の意識を持ち、エアコンについては室温を適温にして使用し、職員による定期点検の実施、気温、室温をチェック表に記入。幼児や児童の工作においては、廃材の利用に取り組み、裏紙の使用を行うことで省エネルギーと管理費の縮減に努めた。 ④朝夕の施設外周の見回り点検を実施。玩具については、片づけ時に職員が確認し、破損が発見された場合は職員が修理またはおもちゃ病院に修理を依頼した。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①～③すべてにおいて、マニュアル等に沿って実施。接遇や事故対応等の研修に参加し、職員会等での報告会で伝達講習を行うほか、ヒアリハットの記入を強化し、周知することで事前の事故・苦情等の防止に努めている。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>【保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート】 令和元年7月23日～7月30日 保護者(一般来館・クラブ参加)にアンケート(無記名)を実施。 回答者数70人 【小・中・高校生用アンケート】 令和元年9月1日～9月10日 来館した児童・生徒にアンケート(無記名)を実施。 回答者数50人(小学:1年12人、2年11人、3年11人、4年5人、5年2人、6年1人、 中学:1年2人、2年4人、3年2人)</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>〈保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート〉 【校区】 白山(14人) 梅林(10人) 長森西(10人) 厚見(7人) 華陽(5人) 長森北(4人)  徹明(3人) 加納西(3人) 本荘(2人) 長森南(2人) 日野(2人) その他(8人) 【年齢】 10代(0%) 20代(5%) 30代(91%) 40代(4%) 50代以上(0%) 【利用頻度】 初めて(3%) ほぼ毎日(1%) 週2～3回(10%) 週1回(51%) 2週間に1回(30%)  月1回(5%) その他(0%) 【来館相手】 子(99%) 孫(0%) 友人(0%) その他(1%) 【子・孫の年齢】 0才(22%) 1才(28%) 2才(38%) 3才以上(12%) 【来館方法】 徒歩(22%) 自転車(18%) 自家用車(60%) 公共交通機関(0%) その他(0%) 【何で知った】 ホームページ(52%) 広報紙・チラシ(6%) 学校(0%) 保育所・幼稚園(0%)  知人・友人(32%) ぎふし子育て応援アプリ(6%) ソーシャルメディア(0%)  その他(4%) 【評価】 (あいさつ)……満足(87%)、ほぼ満足(12%)、普通(1%)、やや不満(0%)、不満(0%) (言葉づかい)……満足(85%)、ほぼ満足(15%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用者対応)……満足(85%)、ほぼ満足(15%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用しやすさ)……満足(70%)、ほぼ満足(21%)、普通(8%)、やや不満(0%)、不満(0%) (整理整頓)……満足(73%)、ほぼ満足(22%)、普通(5%)、やや不満(0%)、不満(0%) (清潔感)……満足(71%)、ほぼ満足(24%)、普通(5%)、やや不満(0%)、不満(0%) (換気)……満足(73%)、ほぼ満足(20%)、普通(7%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>〈小・中・高校生用アンケート〉 【学校名】 梅林小(30人) 附属小(4人) 島小(2人) 茜部小(2人) 明郷小(1人) 厚見小(1人)  東小(1人) 華陽小(1人) 梅林中(8人) 【学年】 小学:1年(24%)、2年(22%)、3年(22%)、4年(10%)、5年(4%)、6年(2%)、  中学:1年(4%)、2年(8%)、3年(4%)、高校:1年(0%)、2年(0%)、3年(0%)  その他(0%) 【利用頻度】 初めて(10%)、毎日(6%)、週4・5回(8%)、週2・3回(16%)、週1回(26%)、  その他(34%) 【来館相手】 ひとり(19%)、友人(31%)、兄弟姉妹(15%)、父母(35%)、祖父母(0%)、  親戚(0%)、その他(0%) 【来館方法】 徒歩(42%)、自転車(15%)、自家用車(43%)、バス・電車(0%)、その他(0%) 【好きな遊び】 ドッジボール(27%)、卓球(20%)、カラム(14%)、ボードゲーム(11%)、  カードゲーム(9%)、けん玉(4%)、その他(15%)</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>要望⇒回答 ○家庭ではできない遊びを企画しており、ありがたいです。 ⇒親子で楽しんで頂けるように考えています。満足していただけて職員は嬉しいです。 ○リカちゃん人形の洋服をもう少し綺麗にしてほしい。 ⇒たくさんのお子さんが遊んで楽しんでいただけているので新規の購入をしていきます。 ○室内であそべるのがありがたい。 ⇒お友達とたくさん交流をして下さい。 ○午後から清掃が入り綺麗でうれしい。 ⇒環境整備には充分取り組んでいますが気になることがありましたら職員へ気軽に声をかけてください。 ○職業体験させて欲しい ⇒児童館へ興味がある人や将来、指導者を目指している人を歓迎します。 ○楽しそうな遊び・玩具を増やして欲しい ⇒皆さんから希望を聞き取りながら購入します。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	S	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	(A)	(A)	(A)
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	S	S	S
		区分評価			A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	S	S	S
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		⑬リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価			A	
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	A	A
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価			A	

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組みに対する評価</p>	<p>○通年利用者があまり変わらないことと登録制幼児クラブを申込みの殺到による混乱を防ぐため、今年度より、2期制(前期・後期)として実施を始めた。申込みの殺到はこれまで同様あり、たくさんの申込みをしていただいたが申込みに並ぶ回数が増えたことを喜んで頂いた。加えて、申込み期間がなくなった分クラブ回数を増やすこともできた。</p> <p>各クラブは、昨年同様に子どもの発達や姿に応じて年齢毎に分けて実施し、身体を動かす遊びを多く取り入れて欲しいとの声から、新規に「げんきっこクラブ」として、体操やマット・平均台・ボール等を使った運動クラブを開始した。無理なく楽しんで頂けるよう配慮し、身体の発達の著しい2歳児のみとした。1歳児については発達が月齢の前半・後半で差があることから1歳誕生日から1歳半までのクラブと1歳半から2歳までのクラブに分けていることが好評である。2歳児も分けて欲しいとの要望もあるが幼稚園の幼児教室との掛け持ちも多くみられることから参加登録していただいても欠席もみられるため、実施は今後へ向けて検討中である。</p> <p>0歳児対象のクラブを夏休み期間も行った。1・2歳児は戸外での遊びができるが「0歳児は行き場がない。」と交流する機会に保護者から話されることが多々あったため、例年、児童の夏休みにはクラブを開催していなかったが、今夏に開催したところ、参加が多く(平均16組)、喜んでいただけた。</p> <p>幼児クラブの中では、より近い年齢同士のお子様を持った母親同士が交流を深めているように感じる。仲良しグループができ、同じ悩みを共有しクラブ後に交流することでリフレッシュできた職員へ話していただくことが子育て支援へつながっていると思っている。また、仲良しグループが新規の親子へ入りづらい雰囲気を作らないよう、職員も時々話の中へ入り、子育て仲間の輪が広がるよう配慮している。</p> <p>0歳児から継続して利用する親子が多い状況で交流も長期となり、お互いに成長を見守り育ちあう姿が見られることは職員として嬉しく思う。</p> <p>また、継続して育児中の保護者(特に母親)の育児ストレス等の軽減を目的に、育児講座の開催を毎月行っている。身体のエクササイズ等を好評いただいている。今期は要望が多く聞かれる「英語教室開催」について、岐阜県国際交流センターとの共催で多国籍交流会(イギリス・中国・ブラジル)ができた。参加募集に申し込みが殺到し、興味深さを感じた。今後も実施予定。</p> <p>○児童利用者については、今年度も近隣小学校の児童の減少があった影響はある。夏期の猛暑での外出の自粛も昨年同様、影響があった。夏祭り等の行事への参加は、例年と変わりはなかった。猛暑での対応は、給水タイムを設けての水分補給の呼びかけや室温の管理を行い、猛暑日(35度以上)の野外活動(水遊び等)を中止にするなど、利用者への呼びかけやポスター掲示等も行い、理解を求めながら安全第一での運営に努めた。</p> <p>○要支援児童の対応については、以前と変わらず利用頻度も高いため、学校(校長・担任)と連絡を取り合い、民生主任児童委員や地域の方の協力を得て指導をしている。</p> <p>○今年度は職員異動が無かったため、継続した対応ができている。</p> <p>進級後の継続的な利用の変化を心配していたが、常連の児童の利用に変わりは見られず、個々の児童に成長が見られ関わりを持っていく。夏祭りや乳幼児とのふれあいタイムなどでのボランティア要請にも快く応じてくれ、乳幼児や地域の目上の人と関わる楽しさ、必要とされることを知り自己肯定感や学習意欲の向上へもつながっているように感じられた。人気である卓球・カラムでは技を披露しての競い合いもあり、上級者から初心者へアドバイスを行い、楽しく過ごす時間も増えている。</p>
<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>○依然、駐車場を増やしてほしいとの要望は多々ある。</p> <p>職員が停める位置の掲示を行い、台数を多く止められるよう配慮していることの評価はいただいている。継続して、公共交通機関、ふれあいバスの利用もお伝え理解を求めていく。</p> <p>○午後の幼児クラブは参加しにくいのご意見に対しては、乳幼児のお子さんたちの大切な午後の休息タイム(昼寝)であることを考慮した上で見直し、午前みの乳幼児クラブを行った。申込みが多いことを予想し、定員増として対応している。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>○下半期の乳幼児クラブは、これまでと同様に発達に合わせての活動内容や季節行事に合わせた遊び、製作に取り組み、保護者やお子さんに無理のない活動とする。保護者の要望に応えた育児講座開催ができるよう、情報収集にも努めていく。上半期に新規で開始したげんきっこクラブ(運動クラブ)に地域でヨガインストラクターとして活躍されている方の協力が得られ、職員と活動をしていただく。実家から離れたアウェイ育児も多い地域であり、加えて下半期は仕事復帰に向けて不安を相談されることも増えるため、少しでも解消できるように相談される保護者に寄り添った対応をしていく。</p> <p>○地域(公民館・小学校等)で開催される事業も増えつつあるので、児童館としてこれまで同様に協力体制を取っていく。移動児童館の依頼も例年以上にあるため、地域の子育て支援の拠点としての役割を担っていく。</p> <p>○下半期は例年、放課後帰宅時間が学校指導により早くなるため、来館しても遊ぶ時間が短くなり、利用が極端に少なくなると予想している。行事の日程を考慮した設定や来館した時にいつでもできる遊びを週間、月間で設定し、様々な経験の機会を作って参加しやすいものにしていく。また、利用の継続となるように次回活動の要望や意見などを聞き取り、早めに計画し伝えていく。</p>

●所管課の意見

<p>○毎月、乳幼児用と児童用の2種類のおたよりを作成し配布するほか、ホームページに掲載している。また、ホームページの掲載については、継続的に来館できない方にも活動の様子がわかるよう毎月新着情報として掲載するとともに、クラブや行事の写真や利用者のコメントを掲載する等、利用者へ児童館の状況が伝わるよう配慮している。</p> <p>○移動児童館について、上半期14回開催し、年間目標数値の24回(平均月2回)に向け順調に実施されており、下半期も引き続き実施していただきたい。</p> <p>○乳幼児ふれあい事業への参加や夏祭りのボランティア募集を呼び掛けたところ多くの中学生が参加し、乳幼児や地域の方々と関わる中で、ボランティアへの意欲の向上につながった。</p> <p>○利用者の要望に応えるため、夏休み期間中の子供がいない時間帯を利用して試験的に幼児クラブを開催し、多くの利用者が参加された。また、岐阜県国際交流センターとの共催で多国籍交流会を実施した際、参加者の中に英語の得意な利用者が参加されたことから、今後の行事や活動の広がりにも期待したい。</p> <p>○熱中症や度重なる台風への適正な対応によって、大きな事故が発生しなかったことを評価したい。また、今期は災害に対するマニュアル作成に尽力されたことにより、今後施設としての災害への認識や適応力の高まりに期待したい。</p> <p>○様々な資格を有した職員を多く配置している職員体制は、安心安全な施設運営にとって高く評価されるものであり、経営状況についても問題なく運営されている。</p>
--

●指定管理者評価委員会の意見

<p>利用者からの意見や要望に対して、丁寧に回答しているところに好感が持てる。</p> <p>中学生に夏祭りのボランティアとして参加してもらうなど、児童館を利用する子どもがボランティアとして活動できるように育成・援助することは、その後も子どもたちが児童館とつながりやすくなるため、継続してほしい、管理運営は適正に行われており、良好と認められる。</p>
--